



SPECIAL STEEL

すてい~る

December/2020

目次

● 2019年度特殊鋼販売加工技士上級編合格者名簿	1
● 佐久間貞介前会長が秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章	2
● 協会案内リーフレットの紹介	2
● 新・副会長訪問 久木田 至氏	3
● 新・理事訪問 竹内篤行 (株)竹内ハガネ商行 常務取締役	4
● 新・理事訪問 伊藤勝彦 (株)伊藤ハガネ 代表取締役社長	5
● 理事会・委員会報告	6
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>E-mail info@zentokkyo.or.jp

2019年度 特殊鋼販売加工技士[上級編] 合格者名簿



全特協では、8月5日(水)に特殊鋼販売加工技士[上級編]の検定試験を行い、その合格者を8月31日(月)に発表した。

昨年度末から講義を行っていたが、新型コロナ禍にあり大阪支部は途中中止となり、来年2～3月に延期となっている。また例年行っていた資格認定式は中止を余儀なくされた。

2019年度特殊鋼販売加工技士[上級編] 合格者数

支部名	受験者	合格者
東 京	35	22
名古屋	27	27
合 計	62	49

成績優良者 合計6名

[名古屋支部]

林 壯幸	川本鋼材(株)
庄司 楓	スチールテック(株)
三品 千春	〃
安井 志織	〃
竹井 勇人	辰巳屋興業(株)
甲斐 直樹	中島特殊鋼(株)

東京支部

合格者22名

岡田 滉平	浅井産業(株)
古市 勇太	池垣冷鋼(株)
寺田弥太郎	(株)UEX
久我 靖	〃
矢嶋 誠範	〃
中島 岳人	〃
石川 拓馬	〃
本多 将洋	〃
小杉 昌也	碓井鋼材(株)
小松 周平	〃
串田 智	兼松トレーディング(株)
内田 幸伸	第一鋼業(株)
工藤 成男	大洋商事(株)

樽澤 和也	〃
中村 怜史	中川特殊鋼(株)
松本 純	〃
横山 敦	ノボル鋼鉄(株)
山田健太郎	(株)平井
玉川 卓	〃
足立 義樹	(株)マクスコーポレーション
笠原 真悟	(株)メタルワン特殊鋼
河原 敬樹	〃

名古屋支部

合格者27名

林 達也	愛鋼(株)
大橋 寛幸	〃
村上 裕一	浅井産業(株)
門間 祐紀	〃
浅野 彰太	浅野鋼材(株)
花井 俊文	川本鋼材(株)
林 壯幸	〃
大倉 修	佐久間特殊鋼(株)
芝 輝	〃
山崎 智仁	〃
鷺見 将太	(株)三悦
庄司 楓	スチールテック(株)
高橋 利彦	〃
堀山 徳宏	〃
三品 千春	〃
安井 志織	〃
陳 苑欣	大同DMソリューション(株)
三浦友香梨	〃
猪飼 充	(株)タカスチール
土谷 公彦	孟鋼鉄(株)
藤本 拓真	〃
竹井 勇人	辰巳屋興業(株)
田中 智也	〃
玉巻 直樹	中川特殊鋼(株)
小松瑛一郎	〃
甲斐 直樹	中島特殊鋼(株)
青木 翔太	藤巻工範(株)

協会会長などを歴任された佐久間貞介氏が 秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章

政府は11月3日、2020年秋の叙勲受賞者を発表し、佐久間貞介・前会長(佐久間特殊鋼・代表取締役)が旭日小綬章を受章した。

受章は、3期6年にわたり、全日本特殊鋼流通協会会長、および特殊鋼倶楽部副会長を務められるなど、長年にわたり特殊鋼業界に多大な貢献をされた功績によるもの。佐久間氏は、「身に余る光栄」として下記のとおりコメントを発表された。

全特協推薦の勲章受章者は、2001年、2014年、2018年にいずれも旭日双光章を受章した田島清・元会長(故人)と樋口克彦、熊谷達男・元両副会長、2016年、2017年にいずれも旭日小綬章を受章した三上聡彦、竹内誠二の元両会長に続き、6人目となった。



叙勲の「勲章(左)並びに勲記(右)」

佐久間貞介氏、喜びの言葉



このたびは、旭日小綬章受章という栄誉をいただき、身に余る光栄に存じます。40年あまりにわたり、業界団体に関わらせていただきましたが、諸先輩方から熱心なご指導をいただくとともに、会長時代における組織運営や改革にあたっては業界や会員企業の皆さまから多大なご協力をいただき、大変感謝しております。今後も、業界や団体、地域社会の発展の一助となるよう微力ながら貢献してまいります。

協会案内リーフレットのご案内 ～会社のプリンターで印刷、手軽に利用できます～



協会案内リーフレットをホームページで公開しています。全特協の概要をコンパクトに伝える内容となっています。

PDFデータをダウンロード後、会社などのプリンターでA3サイズ用の紙(厚めの用紙推奨)に両面印刷し、2つ折りにすればすぐに使用できる仕様になっています。

会員であれば使用の許諾は不要です。お気軽にご利用ください。

[リーフレットPDFダウンロード先]

全特協トップページ→協会のご案内→リーフレット ▶ <http://www.zentokkkyo.or.jp/info/profile/leaflet.html>

新・副会長訪問

櫻井鋼鐵株式会社
代表取締役社長 久木田 至

前向きな意志と万全の対策、創意工夫で 新型コロナによって失われた機会の回復を



■最悪は脱したようだ

もうひとがんばり

「しばらくは頭(こうべ)を垂れて我慢のとき」と言う久木田至新副会長。特殊鋼業界を取り巻く環境は、昨年の米中貿易摩擦の影響に続き、新型コロナウイルス感染拡大で高炉メーカー、專業メーカーとも減産に次ぐ減産となり、相当な落ち込みとなった。

足元の状況は、「売上高は前年より2～3割落ちたが、特殊鋼は昨年まで5年間ほど好調だったので慌てるほどではない」とし、「この秋口から自動車産業がやや持ち直してきて、最悪は脱したようだ。自動車が動き出すと、ベアリング、工作機械と上向いてくるので、期待がふくらむ。まだまだ、建設機械、産業機械の出口は見通しにくい、中国では生産が上向いてきているようだ。もうひとがんばりです」と、遠くに灯りは見えてきたとする。

■副会長兼西日本ブロック長に就任 榎新会長をフォローしていく

全特協では2014年6月の理事就任以来、大阪支部では副支部長として当時の福原實晴支部長兼西日本ブロック長(南海鋼材・代表取締役)が主導した中国支部設立に尽力するなどしてきた。2016年に大阪支部長に就任し、この6月、榎巳芳氏(辰巳屋興業・取締役社長)が新会長になり新体制が

発足すると副会長兼西日本ブロック長に昇格。大阪支部長は留任となった。

コロナ禍のなか、感染拡大防止を目的に定時総会をはじめとした重要会議のほとんどをリモート開催とし、異例ずくめで船出した新体制だが、「副会長として西日本ブロック長として、榎会長をフォローしていく。先行き不透明な状況下だが、大阪支部としても本部の方針に沿い、何らかの形で会員の皆様にお役に立てる活動を検討したい」と抱負を。前会長の佐久間貞介氏には「旭日小綬章の受章おめでとうございます。全特協では特に人材教育を中心とした制度改革などに長年取り組まれ、業界の底上げや全国組織としての価値向上をリードされてきたと敬服しています」と、また、前任の福原實晴氏には「長い間お疲れさまでした、とお礼を申し上げたい。貴兄の協会、特に大阪支部に対する情熱には感服し、また尊敬していました」とし、両氏に「いつまでもお元気であることを願うとともに、これからも我々に御指導のほどよろしくお願いします」と述べる。

■コロナ禍のなか工夫しながら

諸事業を通常ペースに

コロナ禍のため重要会議にとどまらず、ほとんどの行事を中止・延期していることで会員、賛助会員へ提供

すべき団体メリットのロスも気にかける。久木田氏は全特協の団体メリットは「ソフト面のメリット」と考えている。「たとえば、あの講習会に、この工場見学会は有意義だった。スポーツイベントに従業員が参加して、とても楽しんできた、ということ」と説明する。新型コロナウイルスを収束させるワクチンや治療薬の普及には時間がかかるだろうと前置きしながら、「それまでの間、ウイルスと戦うという強い意志と万全の対策を施すという慎重さを併せ持ちながら、経済活動とともに協会の諸事業も徐々に通常ペースに戻せるよう工夫していきたい」と語る。具体的には、コロナ以前から地方支部での効率化や働き方改革の進展にあわせて事業改革をすすめてきた人材育成分野でのオンライン講習などが来年度から具体化しそうだ。

「コロナ禍に加え、今夏も猛暑、豪雨で多くの方が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。来年はオリンピックも無事開催され、平穏な1年になることを願ってやみません。全特協の活動も例年通りにできれば」と前向きに語る。

「これから寒い季節がやってきますので、感染症対策も万全にご自愛ください。春には、これまでの大波を乗り越えて、皆様とともに祝杯を上げられる日が待ち遠しい」と希望を語った。

新・理事訪問

株式会社竹内ハガネ商行 常務取締役 竹内篤行



予期せぬことの連続で運営に苦勞される 協会本部、事務局の皆様、微力ながらお役に立てれば

■新潟と東京の「二足のわらじ」で

全特協へも積極的に参加

役員改選期の今年、樋口芳新会長のもと発足した新体制で新任された理事は5名。その1人である竹内篤行氏は1962年1月、東京生まれ。父が転勤族だったため関東学園大学経済学部を卒業後、84年に大同特殊鋼に入社。5年間勤務した後、89年に父が代表を務めていた新潟竹内ハガネに入社し、2000年の父君急逝に伴い代表取締役に就任した。

2011年には東京のグループ本社の竹内誠司社長から「グループ経営に参加して経験を積んでほしい」というすすめにより新潟法人の社長を務めながら竹内ハガネ商行に入社し、12年に取締役、14年に常務取締役に就任した。

全特協には東京の竹内ハガネ商行入社以降、いわば「二足のわらじ」となってから関わるようになった。東京支部の調査研究部会を皮切りに、18年6月からは総務部会長を務めている。

■創意工夫でコロナ禍の協会活動に 尽力する役員、事務局に感謝しきり

理事就任にあたり、「特殊鋼流通はメーカーとユーザーを結ぶのが役割。その役割を果たすためには、特殊鋼の特性を正しく理解し、お客様に伝えないといけない」とし、その上で特殊鋼販売技士や販売加工技士に

代表される人材教育は「各社の努力だけではなかなか実施できない取り組み」と全特協の意義を強調する。また、会員同士の交流を通じて情報交換を可能にし、お互いが感化しあい成長できる場の提供も大きなメリットだとする。

もっとも、新型コロナウイルスの流行以降はそうした活動、事業の多くが従来と同じように実施できなくなっている。竹内理事は、「会長をはじめとした役員の方々はもちろん、事務局の皆さんがとても大変にご苦勞をされている。予期せぬことの連続で、しかも状況が大きく変わることもしばしば。そうした中でさまざまな工夫され、なんとか連絡を取り合っている宮崎専務理事をはじめ事務局の皆さんには頭が下がる思い」と感謝の思いを述べる。

コロナ禍での事業再開に向けたワーキンググループの動き、特に講義・研修のオンライン化にも期待を寄せ、「微力であるが、私にできることであれば皆様にご教示をいただきながら、できる限りお手伝いしたい」と語る。

■趣味は大空を舞う

現在、東京と新潟を行き来する生活のため以前より機会はずっと減ったというが、15年来モーターパラグライダーを趣味にする。

モーターパラグライダーとはプロペラ付きのエンジンを背負い、平地から離着陸ができるアウトドアレジャー。エンジンの出力で上昇してからはパラシュート部のコントロールで自在に遊覧飛行を楽しむものだが、新潟だけが拠点だったときは毎週のようにフライトしていたほどのめり込みようだったという。

「冬の晴れ間を狙って雪の積もった田んぼから飛んだことも。真っ白な世界を見下ろしながら飛ぶのは、ほんとうにきれいで気持ちがいい」と、そのときの感動がよみがえったように目を輝かせる。動力付きのモーターパラグライダーは弥彦山(634 m)を越える高度まで上昇できる。日常と異なる視線で風景を眺められる醍醐味は格別で、「平野の広がりにつながる山並み、その向こうには海も。春夏秋冬、さまざまな表情を見ることが本当にリフレッシュできる。人には味わえないぜいたくで、いいものと巡りあえた」と、その魅力を語る。

最近、日常では就寝前にストレッチは欠かさないようにしているという。「やり方はインターネットで調べたり、人いい方法を聞いてみたり。ツボの押し方などとあわせて寝る前にカラダをよく

伸ばしておく、寝付きもよくなり、カラダも軽くなって翌日が違う。それだけ年を取ったということだと実感もする」と苦笑いした。

新・理事訪問

株式会社伊藤ハガネ
代表取締役 伊藤勝彦

コロナ禍以前の課題も踏まえ 研修のWEB化など事業改革に取り組む



■特殊鋼に先駆けること20年前

異業種でグローバルビジネスを経験

1964年6月、名古屋市生まれ。87年に南山大学経営学部を卒業したときは伊藤ハガネを継ぐつもりはなく、テキスタイルやアパレル製品を扱う繊維専門商社に入社した。「分野は違えど同じ流通。異業種での経験はいまも違和感なく、早くにビジネスの国際化を学べたのは大きかった」と当時を振り返る。

繊維の世界では入社当時にはすでに仕入先メーカーの生産海外移管がすすんでおり、担当していた紳士服の分野ではロードサイドに大型量販店が展開する時代が到来していた。製品は海外から。SPA(製造小売業)による価格破壊と、特殊鋼より20年も早く国際物流の現場にあった伊藤氏。「中国製のスーツもはじめは安かろう悪かろうでしたが、あっという間に品質が向上。クルマもEVの時代になると太刀打ちできないかもしれない」と異業種での経験からイメージする。

■冷間プレス用金型材をメインに

加工も得意とする老舗特殊鋼流通

繊維専門商社には7年間在籍し、94年に伊藤ハガネ入社。その後、2003年に専務取締役、15年1月に社長に就任した。

伊藤ハガネは1929(昭和4)年に勝彦氏の祖父が創業。現在で4代目社長となり、冷間プレス用金型材をメインに面削加工やマシニングサポートも

行なっている。

社長就任後に設備投資含めて注力してきたのが、内製加工の充実と設計(図面作成)部門の新設だ。「図面から手がけることで加工までのリードタイムを短縮し、納品スピードをアップ。材料を売らんがための差別化を図っています」と説明。ここ数年、『加工に強い』という会社のキャラクター付けが浸透してきた効果か、「加工はお任せください」という提案営業が強化されてきた。「設計への参入で材料を売るだけではなく形にして納めるという特徴を明確にし、さらなる顧客満足度を図りたい」と意気込む。

■名古屋支部から一貫して

人材育成部門を担当

理事就任前、名古屋支部では主に人材育成部会に携わってきた。名古屋は佐久間前会長や今期、副会長に就任した松岳大樹氏など人材育成事業の改革に取り組んできた中核でもある。理事就任後も、研修講座のWEB化推進を協議する本部ワーキンググループに所属。「以前から働き方改革の一環として、受講生やそれを送り出す企業の負担を減らすためWEB化の検討を続けてきたが、コロナ禍で弾みがついてきた。すでに試験実施も行ないながら来年度には一部開始する見込み」と明かす。

地区ごとに実施のスケジュールや

詳細はこれから詰めるが、「大きな会場に各社から集まらなくても、会社の会議室であるいは個人のデスクで受講可能になる。受講時間も勤務時間内に設定できるようになるかもしれない」と、時間外勤務解消も念頭に置く。ただし、試験をどのように行なうかは議論が続く。また、合格後の祝賀会交流会は残したいと考えている。

「同業他社間のリアルな交流は貴重な機会、WEBだけで終わるのは寂しいので是非、残したい。他の業界からは、とても珍しいと感心されるので」と、個人な思いを漏らす伊藤社長。新型コロナウイルス感染拡大という予期せぬ事態に、否応なしの対応を迫られることが多い事業活動でも、より会員のメリットが高まる改革の進捗に注目していきたい。

【ヨット】先輩に誘われて数人の仲間とセーリングクルーザーを三河湾で駆る。「風や波など気象をよみながら操船を覚えることで手一杯」というが、風を帆に受けて音もなく走るヨットは爽快とか。「振動がないとスナメリ(小型のイルカ)も舷側まで近寄ってくる」と、海には驚きと感動が一杯だとか。

【体調管理】特に凝って取り組むことはないが、前日が早くても遅くても決まった時間に起床するよう心がけ、生活のリズムを大切にしている。

理事会・委員会報告

■理事会

○第24回理事会

日 時：2020年10月16日(金)16:00～16:50

於：鉄鋼会館(オンライン〈WEB〉)

- 内 容：①2020年度上期事業報告書(案)について
②2020年度上期収支決算書(案)について
③新年賀詞交歓会の開催可否について
(報告)・前会長佐久間貞介氏の叙勲内示の報告
・公取委及び中企庁からの通達「下請取引適正化推進月間の実施について」
・2020年度第3四半期(10-12月期)の鋼材需給見通し(経産省)
・特定技能外国人材の制度の分野追加に係る業務内容&日本標準産業分類にみる受け入れ見込み数の調査(経産省金属課)
・家賃支援給付金について

■運営委員会

○第31回運営委員会

日 時：2020年10月16日(金)13:45～15:30

於：鉄鋼会館(オンライン〈WEB〉)

- 内 容：①2020年度上期事業報告書(案)について
②2020年度上期収支決算書(案)について
③特殊鋼販売技士1級研修講座(オンライン〈WEB〉)の開催について
④研修講座等におけるWEB化事業について
⑤新年賀詞交歓会の開催可否について
⑥地球温暖化対策のための税負担の拡大反対共同要望書への連名の件
(報告)・前会長佐久間貞介氏の叙勲内示の報告
・公取委及び中企庁からの通達「下請取引適正化推進月間の実施について」
・2020年度第3四半期(10-12月期)の鋼材需給見通し(経産省)
・特定技能外国人材の制度の分野追加に係る業務内容&日本標準産業分類にみる受け入れ見込み数の調査(経産省金属課)
・家賃支援給付金について

■総務委員会

○第23回総務委員会

日 時：2020年10月8日(木)15:00～16:00

於：鉄鋼会館(オンライン〈WEB〉)

- 内 容：①2020年度上期事業報告書(案)について
②2020年度上期収支決算書(案)について
③特殊鋼販売技士1級研修講座(オンライン〈WEB〉)の開催について
④研修講座等におけるWEB化事業について
⑤新年賀詞交歓会の開催可否について
⑥地球温暖化対策のための税負担の拡大反対共同要望書への連名の件
(報告)・前会長佐久間貞介氏の叙勲内示の報告
・公取委及び中企庁からの通達「下請取引適正化推進月間の実施について」
・2020年度第3四半期(10-12月期)の鋼材需給見通し(経産省)
・特定技能外国人材の制度の分野追加に係る業務内容&日本標準産業分類にみる受け入れ見込み数の調査(経産省金属課)

■人材育成委員会

○第21回人材育成委員会

日 時：2020年9月23日(水)15:00～16:40

於：Zoom オンライン会議

- 内 容：①第20回の人材育成委員会議事録報告について
②2020年度人材育成年間計画実績見込みについて
③2019年度販売加工技士「上級編」研修講座実施結果について
④特殊鋼販売技士研修講座のアンケート調査結果について
⑤仮称「WEB 研修講座」WG立上げについて
⑥大阪支部の1級のWEB講座実施要請について

【特殊鋼販売加工技士検定試験委員会】

○合否判定会議

日 時：2020年8月28日(金)15:00～16:30 於：鉄鋼会館

- 内 容：①今回の「上級編」研修講座の特徴について
②特殊鋼販売加工技士「上級編」合否判定について
③井上検定試験委員長講評について
④青山人材育成委員長総評について

【WEB研修講座WG】

○第1回WEB研修講座WG

日 時：2020年10月5日(月)15:00～17:20 於：安保ホール

- 内 容：①WGメンバー及び出席者の紹介について
②第21回人材育成委員会議事録報告について
③販売技士・加工技士のWEB化について
④来年1-3月の1級講座のZoomオンライン化について
⑤特殊鋼倶楽部共催の新入社員研修について
⑥次回のWG日程について

○WEB講座ルール等打合せ

日 時：2020年11月6日(金)15:00～16:40 於：鉄鋼会館

- 内 容：①WEB化懸念事項について
②WEB講座ルール等について

○販売技士教材検討打合せ

日 時：2020年11月11日(水)15:00～17:00 於：安保ホール

- 内 容：①販売技士1級のスケジュールについて
②特殊鋼ガイドからのデータ引用承諾について
③販売技士1級の講師一覧表について
④PPTデータの見直しについて
⑤次回の打合せ日程について

■調査研究委員会

○第30回調査研究委員会

日 時：2020年9月29日(火)15:30～17:00 於：鉄鋼会館

- 内 容：①特殊鋼流通統計調査の集計結果について
②第94回(4-6月)景況アンケート調査報告
③第95回(7-9月)景況アンケートの設問について
④特定技能外国人材調査について
⑤次回委員会日程について

■広報委員会

○第22回広報委員会

日 時：2020年11月16日(月)15:30～17:00 於：鉄鋼会館

- 内 容：①広報誌「すてぃーる72号」の記事校正確認等について
②広報誌「すてぃーる73号」の記事内容等について
③2021年度事業計画(案)及び予算(案)の考え方について
④次回委員会日程について

事務局だより

1 経済産業省製造産業局金属課の人事異動

当協会のご担当でありました篠原康人課長補佐が、2020年10月12日付で、産業技術環境局技術振興・大学連携推進課へ異動となりました。

後任には、ウズベキスタンより帰任されました堀口誠課長補佐が引き継がれましたので今後共よろしくお願い致します。

2 2021年「新年賀詞交歓会」中止のお知らせ

2021年新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルス感染拡大の影響があることに鑑み、本部及び各支部共開催が中止となりましたのでご連絡いたします。

3 特殊鋼販売技士「1級研修講座」のオンライン講習開講について

2020年度は、コロナ禍により特殊鋼販売技士3級・2級及び加工技士基礎編の研修講座を中止しました。しかしながら、2021年2月～3月にかけて隔年開催の「1級研修講座」はZoomによるオンライン講座にて各ブロックで開講する予定です。

研修内容は「特殊鋼の特性と事故例」で、鋼種別のグループにて14時間のオンライン研修講座を習得した後、3月24日(水)全国一斉に指定の場所に集合して検定試験を実施します。

受講申し込み時にAグループ：構造用鋼・ばね鋼、Bグループ：工具鋼・軸受鋼、Cグループ：ステンレス鋼・耐熱鋼の何れかのグループを選択していただき、鋼種別グループでの資格認定制度となっています。

受講資格は、「2級資格認定」を有する者となっています。

各支部事務局より順次開講の御案内をしていきますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお問合せ・お申し込みください。

オンライン開講スケジュール

東京支部(北関東支部含む) 2/2～3/18(平日16:00～18:00)

東北支部(A・Bグループ) 3/6～3/14(土日09:00～17:00)

名古屋支部(静岡支部含む) 2/1～3/18(平日16:30～18:30)

大阪支部(中国・九州支部含む) 2/4～3/18(平日16:00～18:30)

編集後記

会員、賛助会員の皆様コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか？師走真っ最中ですが、さすがに忘年会も、例年よりは減っているのでは……。

しかし今年はコロナに振り回されましたね。なによりオリンピックが延期されたのが大きかったです。特殊鋼を取り巻く環境もコロナだけのせいではありませんが自動車の復活は劇的でしたが、他の産業はもう一つといったところでしょうか。しかし、灯りは見えています。来年は景気もよくなり、ワクチンが世界中に行きわたり無事オリンピックが開催されることを願ってやみません。い

い年にしたいですね。

「すてぃーる72号」を発行します。本来ですと各地の賛助会員様との交流会の様子がメインとなりますが、今年は開催できませんでした。代わりに全特協幹部のコメントを掲載しております。竹内常務の趣味は一見の価値あります。御拝読下さい。

寒さが厳しくなります。お身体御自愛ください。

来年は皆で祝杯をあげましょう。良いお年をお迎えください。

久木田 至